

文教大教育 ○松田歌子 高島 愛 伊地和美知子  
山口芸術短大 藤村代利子

### 目的

明治5年に始めて学制が公布されてから早や百十余年の歳月が流れ、その間に人々の生活は著しく变化した。学童の衣生活も徐々に变化して和服から洋服へと移行した。そして太平洋戦争と云う特殊な生活状態の時代を経て今日に至っている。そこで明治から太平洋戦争前位までの学童の衣生活の変遷とその背景について研究を行うことにした。今回は埼玉県浦和市と群馬県前橋市について行う。

方法 学制百年史 教育百年史 日本の厂史書 日本米価変動史  
浦和市立小學校百年史 前橋市立小學校百年史  
浦和市立、前橋市立小學校の卒業写真及びその他の写真  
古老よりの聞きとり その他より行う。

### 結果

文部省より学制が公布されたが 未だ教育に対する人々の意識が低く、学校設立には困難が多かった。

極一部の裕き人々の生活は貧しく、現在と異り 明治時代は授業料も高く、学令に達しても就学率はなかなか上からず、途中で退学する者が多かった。

貧しい児童のために修業年限の短い学校も設けられていた。

明治時代は着物に帯、フロシキ包みで、足袋をはいている子供は少なかった。